

「卓球競技の審判法/審判法の手引き」  
平成 27 年改訂版 正誤表

2015.8.14

No	ページ	誤(下線)	正(二重下線)
1	P.2	ボールの破損の○の 2 つめの 2 行目	
		破損がラリーに影響が <u>ある</u> と認めた時	破損がラリーに影響が <u>あった</u> と認めた時
2	P.3	最初の○の 2 行目	
		ボールの検査、交換は <u>認めないが、</u>	ボールの検査、交換は <u>認めない。</u>
3	P.6	2.1.1 準備の 4	
		競技者の <u>ラケット</u> 、	競技者の <u>ラケット</u> 、
4	P.9	国際方式 4. ラケット検査に関する手順、手続きその他	
		(1) 合格したラケットは名前の付いた封筒あるいは紙袋に入れて保管し、主審あるいは副審が競技領域に入場する時に持参し、 <u>競技者が入場するに</u> テーブルの一方の側に置く。	(1) 合格したラケットは名前の付いた封筒あるいは紙袋に入れて保管し、主審あるいは副審が競技領域に入場する時に持参し、 <u>競技者が入場する前に</u> テーブルの一方の側に置く。
5	P.20	副審	
		図 1 5 <u>ゲーム終了時のジェスチャー</u>	図 1 5 <u>「タイム」のジェスチャー</u>
6	P.21	主審 1 1. マッチ終了時 ①ポイントスコアの宣告	
		図 1 7 のジェスチャーと共に、勝者のポイントからポイントスコアを宣告した <u>後、</u>	図 9 のジェスチャーと共に、勝者のポイントからポイントスコアを宣告し、 <u>その後図 1 7 のジェスチャーと共に、</u>
7	P.24	副審 2. 競技を中断する時と再開する時の宣告	
		「ストップ」の宣告と <u>図 9</u> のジェスチャーを行う。	「ストップ」の宣告と <u>図 7</u> のジェスチャーを行う。
8	P.28	主審	
		<u>②</u> スロープレイへの対応	<u>③</u> スロープレイへの対応
9	P.45	2.4.2 マッチ後検査の 2 つめの	
		…選手は試合終了後 <u>1 5</u> 経ったら持ち帰ることができる。	…選手は試合終了後 <u>1 5 分</u> 経ったら持ち帰ることができる。